



千曲坂城消防
Chikuma Sakaki Fire Dept

広報

しょうぼう

2024

No.49

令和6年3月1日

【今年の表紙】

令和5年9月9日（土）救急の日に合わせて
消防フェスティバル2023を開催した時の様子です。



発行：千曲坂城消防本部
長野県千曲市大字磯部 1221 番地

編集：総務課企画係

電話：026-276-0119 (代)

F A X：026-276-9119

E-mail：chikumasakaki@fdcs.or.jp



令和6年1月1日現在

	人口	世帯数
千曲市	57,846	22,587
坂城町	14,129	6,239
合計	71,975人	28,826世帯

管内の人口と世帯

管理者あいさつ



管理者
小川 修一

地域の皆様におかれましては、日頃より消防行政の円滑な推進に格別のご支援とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

皆様もご存じのように元日に石川県で最大震度7を観測した「令和6年能登半島地震」が発生しました。この地震では大津波警報が発令され、また、建物倒壊による被害も甚大で、道路やライフレインの寸断が広範囲かつ長期間にわたっており、今なお日常生活を取り戻せない方々が数多くおられます。この地震により亡くなられた方々のご冥福を心よりお祈りしますとともに、被災された皆様へのお見舞いと一日も早い復旧、復興をお祈り申し上げます。

さて、当消防組合も発足して20年が経過いたしました。振り返れば管内ではいくつもの災害が発生して参りましたが、中でも甚大な被害となった「令和元年東日本台風」は記憶に新しいところです。20年前と比べ社会

構造の変化は著しい状況で、消防業務においても、火災の多様化、自然災害の増加かつ大規模化、また、超高齢化社会に伴う全国的な救急出動件数の増加など、これまで以上に益々幅広い対応が必要となっております。

管内でも、昨年の救急出動件数は過去最多の4242件と、一昨年比93件の増加となっております。救急の需要は今後益々増大する可能性が高く、救急車到着時間の遅延を防ぐとともに、これに伴う救命率の低下を防ぐための対策が急務となっております。当消防組合としましては、限られた人材、予算の中で住民の皆様のニーズに合った救急医療等が提供できるように努めなければなりません。

また、更埴消防署庁舎整備事業も改修工事が本格化し、令和6年度中の竣工予定で進行しております。

職員数拡充と併せまして更なる消防力・防災力の向上に取り組みながら、地震を含めた各種災害への対応力をより高め、災害対応を担う機関として消防職員とともに、一市一町の皆様の大切な生命、身体、財産を守るため、全力で職務に尽くす所存であります。

結びに、これからも安心・安全そして災害に強いまちづくりのために皆様方のお一層のご協力を賜りますようお願い申し上げます、挨拶いたします。

消防長あいさつ



消防長
荒井 精一

皆様には、平素から消防行政並びに火災予防に対しまして格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

令和6年元日に発生した「令和6年能登半島地震」では、多くの尊い命が失われるなど、甚大な被害もたらされました。この地震により犠牲となられた方々に謹んで哀悼の意を表しますとともに、被災された方々に心からお見舞いを申し上げます。被災地域の日も早い復興、そして被災された皆様が一日も早く平穏な生活に復されることをお祈り申し上げます。

さて、当消防本部は千曲市の誕生とともに前身となる更埴市消防本部・坂城戸倉上山田消防組合消防本部の事務の一元化により発足し、今年で20年の節目を迎えました。この20年、我々消防職員は地域の皆様「安全で安心して暮らせるまち」の実現に向け、また地域の皆様から信頼され

る消防体制を目指して、職務に精励して参りました。

このような時代の流れの中で、消防行政を取り巻く環境は変化し続けており、消防に寄せられる期待はますます高まっていくものと思われまます。我々消防職員は、あらゆる状況に迅速かつ的確に対応していくために、一人一人が自身の職務に習熟することによって組織としての災害対応力を高めるとともに、各防災関係機関との連携を図ることで、地域全体への備えを十全にし、もって住民の皆様のご期待にお応えしていけるよう、消防行政に求められている役割を確実に果たしていく必要があります。当消防本部におきましても、これまで先人達の築き上げて来られた成果を継承しながら、更なる消防・救急体制の充実強化を図るため、各施策を着実に進めているところであります。

今後も職員が一丸となって職務に精励し、住民の皆様の負託に応えられるよう努めて参りますので、引き続きご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます、挨拶とさせていただきます。

令和5年度 消防組合議員

坂城町議会構成が変わり、令和5年5月23日、同議会臨時会において、当消防組合議会議員として新たに2名が選出されました。

なお、現在の消防組合議会議員及び監査委員は左記のとおりです。

- 議長 飯島 孝(千曲市)
- 副議長 朝倉 国勝(坂城町)
- 議員 金井 文彦(千曲市)
- 議員 川嶋 敬信(千曲市)
- 議員 北川原 晃(千曲市)
- 議員 滝沢 清人(千曲市)
- 議員 中村 恒彦(千曲市)
- 議員 聖澤多貴雄(千曲市)
- 議員 宮下 繁明(千曲市)
- 議員 和田 重昭(千曲市)
- 議員 中村 忠靖(坂城町)
- 議員 水出 康成(坂城町)
- 監査委員 塚田 明(識見者)
- 監査委員 宮下 繁明(議会選出)

第40回危険業務従事者叙勲

藤岡雅人氏 瑞宝単光章を受章

第40回危険業務従事者叙勲において、当消防本部元消防司令長の藤岡雅人氏(千曲市)が瑞宝単光章を受章されました。

藤岡氏は昭和46年4月に旧更埴市消防本部にて消防士として拝命。警防、予防業務に広く精通し、約42年間にわたり住民の生命、身体及び財産を災害から保護するという消防の使命に精進し、また消防本部の発展にご尽力されました。



藤岡氏(右) 小川市長とともに

令和5年度更埴消防署庁舎整備事業

更埴消防署改修工事のお知らせ

千曲市旧保健センターを千曲坂城消防本部新更埴消防署として使用するため、令和5年11月から令和6年11月までの間、大規模改修工事を実施しております。

工事中ご迷惑をおかけしますが、ご理解ご協力を宜しく申し上げます。

なお、事務所の移転につきましては8月中の予定となっております。暫くの間は現庁舎で業務を行います。詳しいスケジュールは消防本部ホームページに随時掲載していきます。

◇工事内容 消防庁舎への改修工事

更埴消防署の耐震補強工事



千曲市旧保健センター
令和6年1月現在

令和 4 年度 職員の給与と勤務状況を公表

「千曲坂城消防組合人事行政の運営等の状況の公表に関する条例」に基づき、人事行政の公平性と透明性の確保を目的に、職員の人事行政の運営状況の概略を公表します。

1 年齢別職員構成の状況《令和 4 年 4 月 1 日現在》

年齢	18～25	26～30	31～35	36～40	41～45	46～50	51～55	56以上	計
人数	12	11	23	13	15	15	6	7	102

2 職員の給与の状況

(1) 人件費の状況《令和 4 年度決算額》

* 人件費に児童手当は含まず

管内人口 (R4.4.1)	歳出額 (A)	実質収支	人件費 (B)	人件費比率 (B/A)
72,322 人	10 億 4,443 万 7,526 円	6,154 万 2,925 円	7 億 6,860 万 1,507 円	73.6%

(2) 給与費の状況《令和 4 年度決算額》

職員数 (A)	給 与 費				1 人当りの給与費 (B/A)
	給料	職員手当	期末・勤勉手当	計 (B)	
102 人	3 億 6,332 万 305 円	8,070 万 2,508 円	1 億 4,013 万 7,635 円	5 億 8,416 万 448 円	572 万 7,063 円

(3) 平均給料月額・平均給与月額・平均年齢の状況《令和 4 年 4 月 1 日現在》

職員数	平均給料月額	平均給与月額	平均年齢
102 人	29 万 5,671 円	35 万 4,284 円	38.5 歳

(4) 初任給の状況《令和 4 年 4 月 1 日現在》

区分	消防組合		県	国
	大学卒業者	高校卒業者		
一般行政職	17 万 1,700 円	15 万 600 円	19 万 2,600 円	18 万 2,200 円
			15 万 8,100 円	15 万 600 円

(5) 級別職員数の状況《令和 4 年 4 月 1 日現在》

* 構成比は小数点以下四捨五入

級	1 級	2 級	3 級	4 級	5 級	6 級	7 級	計
職	主 事	主 任	主 査	係 長	課長補佐 副署長・主幹	次長・署課長	消防長 参事	
階 級	副士長 消防士	司令補 士長・副士長	司 令 司令補	司 令	司 令	司令長	消防監 司令長	
職員数	16	29	19	21	9	6	2	102 人
構成比	15.7%	28.4%	18.6%	20.6%	9.8%	5.9%	1.0%	100%

(6) 期末手当・勤勉手当《令和 4 年度》

* 職制上の段階、職務の級等による加算措置有り

区 分	消防組合		国	
	期末手当	勤勉手当	期末手当	勤勉手当
6 月期	1.200 月分	0.95 月分	1.200 月分	0.95 月分
12 月期	1.200 月分	1.05 月分	1.200 月分	1.05 月分
合 計	2.4 月分	2.0 月分	2.4 月分	2.0 月分

(7) 退職に係る手当《令和 4 年 4 月 1 日現在》

区 分	勤続 20 年 (月分)	勤続 25 年 (月分)	勤続 35 年 (月分)	最高限度額 (月分)
消防組合	24.586875	33.27075	47.709	47.709
国	24.586875	33.27075	47.709	47.709
加算措置	定年前早期退職特例措置 2～45%加算			

(8) その他の手当《令和 4 年 4 月 1 日現在》

区 分	内 容	
扶養手当	① 配偶者 6,500 円 ② ①以外の扶養親族：子 10,000 円／父母等 6,500 円 *子については特定期間加算有り：5,000 円	
住居手当	賃借等により：20 人 支給なし～最高 27,000 円	
通勤手当	距離、通勤方法等により：90 人 支給なし～最高 12,900 円	
管理職手当	主幹 35,600 円～消防長 61,900 円：17 人	
特殊勤務手当	災害活動	400 円／回
	救急活動	①救急救命士：500 円／回 ②上記以外：400 円／回 ③特定行為：700 円／回
特殊勤務手当	特殊活動	500 円～1,000 円／回
	夜勤	500 円／1 勤務
特殊勤務手当	航空機搭乗活動	2,000 円／日
	緊急消防援助隊活動	

第44回 防火ポスター展



今年度も児童等の防火意識の高揚と火災予防思想の普及を図ることを目的に「第44回防火ポスター展」が開催され、管内の幼稚園・保育園と小学校から合計360点もの作品が出品されました。

審査会では丁寧な色彩の作品や心に残る標語など力作が数多く、審査員は皆一様に頭を悩ませていましたが、「園児の部」21点、「小学生の部」28点が各賞に選出されました。次回もたくさんの力作をお待ちしております！

園児の部



さゆり幼稚園
福田 葉奈さん

小学生低・中学年の部



更級小学校
西澤 依吹さん

小学生高学年の部



南条小学校
関 彩花さん

最優秀賞

新職員紹介



小坂橋 航佑
出身 戸倉



清滝 司
救急救命士
出身 屋代



梅田 凌空
出身 八幡

令和5年4月1日、消防吏員の拜命を受けた3名です。昨年4月からの長野県消防学校における半年間の初任科課程を終了しており、現在消防士として坂城消防署に勤務しています。救急救命士以外の2名は、救急隊員としての資格取得課程終了後、消防活動の最前線で活躍します。

五加小学校
西村 陽菜乃さん



坂城小学校
荒井 陽葵さん



更級保育園
大谷 珠々結さん



五加小学校
谷口 結真さん



上山田小学校
中曽根 健瑠さん



坂城幼稚園
小宮山 真子さん



優秀賞

落ち着いて119番



令和 5 年中の 119 番通報の件数は 5,965 件と、千曲坂城消防本部統計史上最多数となりました。

通報の内訳は火災が 45 件、救急要請が 4,026 件などであり、救急要請では急病が最多数となる約 3,000 件、屋外からの通報となる交通事故は約 200 件です。また、それらのうち携帯電話による通報は、火災では 31 件、救急要請では約 2,000 件となりました。

現在は位置情報システムにより通報する方の居場所の特定が容易になりましたが、携帯電話からの 119 番通報の際はより正確に特定するため、口頭でも場所の情報をお話してください。

また、通報内容によっては救急隊や消防隊、通信指令室から折り返しで状況を確認する電話をかける場合がありますので、携帯電話などはすぐそばに置いたままお待ちください。

通報時に伝えてほしいポイント！

千曲市・坂城町の
119 番はすべてここに
入ってきます



- ▶ 消防車両が向かう正確な住所又は目印になる建物
(工場・お店の名前・信号機 など)
例：千曲市大字〇〇 △△番地□□号
例：△△信号機の近くで交通事故です。
- ▶ 火災の時は何が燃えているのか
例：台所で鍋が燃えています。
例：庭の木が燃えていて、自宅に燃え移りそうです。
- ▶ 救急の場合は誰がどんな症状、状態なのか
例：おじいさんが突然倒れて意識がありません。



千曲市大字磯部 1221 番地 千曲坂城消防本部 2F 通信指令室



通報から
出動まで
約2~3分です。



戸倉上山田消防署



更埴消防署



坂城消防署

通信指令室では通報を受信し、出動先の状況や事案の規模に応じて出動車両を選択、各消防署へ出動指令を出します。

皆様が通信指令員に通報をしている時、場所と状況が分かった時点で緊急車両はもう出動しています。通信指令員は、皆様が落ち着いて通話できるように心がけています。指令員の指示に従いお話しください。

3月1日から7日まで春の全国火災予防運動です

令和6年3月1日から7日まで、春の火災予防運動と山火事予防運動が実施されます。空気が乾燥し、強い風が吹きやすくなっていますので、全国的に見ても火災が多い時期です。住宅での火災予防はもちろんのこと、屋外での火の取扱いには十分注意しましょう。



救急件数過去最多を更新、長野県で#7119運用開始！

近年、真夏の猛暑や高齢化社会の進行などにより、全国的に救急事案が多発し、救急出動態勢がひっ迫しています。これを受け、令和5年10月1日より長野県救急安心センター事業により「#7119」の運用が開始されました。

これは救急要請をすべきか判断に迷ったとき、医師、看護師、トレーニングを受けた相談員等に電話口で傷病者の情報を伝えることで、緊急性のある症状かなどを判断してもらうことができ、緊急性が高いと判断された場合は救急安心センターが迅速な救急出動に繋いだり、そうでない場合はご自身による受診が可能な医療機関についての情報提供がしてもらえる窓口です。

救急車は地域の限られた救急資源です。もし「この症状で救急車を呼んでもいいのかな？」と迷ったときは「#7119」をご利用いただくなど、救急車の適時・適切な利用にご協力をお願いいたします。



令和6年度救命講習会日程



【普通救命講習Ⅰ又はⅡ】

成人に対する心肺蘇生法・AEDの使用方法などを学びます

大人の心肺蘇生法を学びたい

開催年月日	開催場所	開催時間(※)
令和6年 4月9日(火)	戸倉上山田消防署	8:30～12:30
6月9日(日)		8:30～12:30
8月9日(金)		8:30～12:30
10月9日(水)		8:30～12:30
12月9日(月)		8:30～12:30
令和7年 2月9日(日)		8:30～12:30

※普通救命講習Ⅰは3時間、普通救命講習Ⅱは4時間となります。

※定員5名に満たない場合は中止します。

【普通救命講習Ⅲ】

小児・乳児・新生児に対する心肺蘇生法、AEDの使用方法などを学びます

子どもの心肺蘇生法を学びたい

開催年月日	開催場所	時間
令和6年 5月19日(日)	戸倉上山田消防署	9:00～12:00
11月9日(土)		

【上級救命講習】

心肺蘇生法、AED、外傷の手当、搬送法、傷病者管理法などを学びます

もっともっと色々学びたい

開催年月日	開催場所	時間
令和6年 7月15日(月)	戸倉上山田消防署	8:00～17:00

【応急手当普及員講習Ⅰ】

救命に必要な知識、実技、指導要領などを学びます

職場で心肺蘇生法を指導したい

開催年月日	開催場所	時間
令和7年 1月10日(金)	戸倉上山田消防署	各日とも 8:30～17:30
17日(金)		
24日(金)		

※講習時間：3日間(上記日程全ての受講が必要です)

※テキスト代：@3,600円+消費税が必要です。(予定)

【応急手当普及員再講習】

応急手当普及員講習Ⅰを修了し3年以上経過した方が対象です

普及員修了から3年

開催年月日	開催場所	時間
令和6年 8月16日(金)	戸倉上山田消防署	9:00～12:00
12月6日(金)		

心肺蘇生法についてはこちら
千曲市役所公式 YouTube チャンネルにて公開中



※e-ラーニング(Web講習)の受講状況により開始時間が異なります。(応急手当普及員講習Ⅰ及び再講習を除く。)

緊急消防援助隊活動報告

令和6年1月1日16時10分に石川県能登地方（輪島市東北東30km付近）を震源とする最大震度7を観測した能登半島地震が発生し、津波、火災等による甚大な被害が生じました。

千曲坂城消防本部を含む県下13消防本部からなる長野県大隊は、令和6年1月10日から1月22日までの13日間、石川県珠洲市を中心に、第4次隊まで緊急消防援助隊を派遣し、活動を実施しました。当本部からは総数40名、内訳は救助隊4隊20名、救急隊4隊12名、後方支援隊4隊8名の出動となりました。

緊急消防援助隊は、平成7年1月の阪神淡路大震災の教訓を踏まえ、国内で発生した大規模災害における人命救助活動をより効果的かつ迅速に実施できるよう、全国の消防機関による相互援助体制を構築するべく、平成7年6月に発足しました。

千曲坂城消防本部は、今後もあらゆる災害に対応できるよう出動準備体制を整え、地域住民の皆様へ寄り添った活動を心がけていきます。

千曲坂城消防本部派遣状況（総数 40 名）

	活動期間	隊数	人数
第1次派遣隊	1月10日～13日	3隊	10名
第2次派遣隊	1月13日～16日	3隊	10名
第3次派遣隊	1月16日～19日	3隊	10名
第4次派遣隊	1月19日～22日	3隊	10名



近年の緊急消防援助隊当本部出動状況

- 平成 23年3月11日 東日本大震災
- 令和 3年7月 3日 熱海市伊豆山土石流災害
- 令和 6年1月 1日 能登半島地震

※日には発災日

編集後記

令和6年能登半島地震により犠牲になられた方々のご冥福をお祈りしますとともに、被災された皆様へのお見舞いと、被災地域の一日も早い復旧、復興をお祈り申し上げます。

2023年は、約4年間世界を震撼させた新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが「5類」に移行しました。以後、季節性インフルエンザと同じ分類となったことで、人々は少しずつ日常生活を取り戻しました。しかしまだ感染者は多いのが現状です。また、史上最高の暑さとなった夏に「地球沸騰化」という言葉が使われたり、止まらない物価上昇にも翻弄されるなど、大変な一年でもありました。

年は変わり、2024年です。パリオリンピックでの日本選手の活躍など、皆が日々の明るいニュースを待ちながら、夢と希望を持てるよう、そして、未来を想像して笑顔の絶えない日々でありますように。

令和5年火災・救急・救助

火災件数	30件 (+4)
救急件数	4,242件 (+93)
救助件数	29件 (-3)

※救急件数は出動件数を示す
※() 前年比